

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
 本社：千葉県茂原市渋谷1016-12
 メール：agree@green.ocn.jp
 agree-sys@excite.co.jp
 HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館 江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418
 開館時間：9：00～17：00
 休館日：月曜日
 問い合わせ：0465-81-5339
 HP：http://edomingu.com/



90歳近い実力派、おとろえぬ情熱

ピエール・アレンシンスキー

Bunkamura ザ・ミュージアム

1948年 結成の前衛美術集団コブラの活動を通じて、内面から湧き上がる情熱を描き出したが、グループは短命に終わり、その精神を受け継いだ。日本とも深い

ベルギーの作家ピエール・アレンシンスキー（1927〜）の筆の勢いと、抽象と具象のはざま、独自の画風で勝負してきた“勢い”があり、おとろえぬ情熱で知られている。

日本とも深い関わり

ベルギー現代美術を表する作家のひとり、ピエール・アレンシンスキーは90歳近い現在も新たな作品作りに挑んでいる。ベルギー友好150周年を記念して日本初の回顧展がBunkamura ザ・ミュージアムで開催されている。



い関わりを持ち、禅の画家・仙厓を師と仰ぎ、前衛書道家・森田子龍と交流し、筆の動きの影響を受けた。アメリカのコミック本に



0周年を記念して開催される日本初の待望の回顧展となって人気を得ている。

日本・ベルギー友好150周年を記念して開催された。また著作も多く、文筆家としても活躍してきた。

◆10月19日(水) 12月8日(木)

メモ
 Bunkamura ザ・ミュージアム (東京都渋谷区道玄坂2-24-1) TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1400円 大学・高校生1000円 中学・小学生700円 10月21日(金) 10/24のみ休館

次号は
11月17日発行

熱海湾を一望でき、眺望ナンバーワンの美術館

MOA美術館 (静岡県熱海市桃山町26-2) 電話0557-(84)2511

一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円 木曜日休 (祝日は開館)

JR熱海駅下車/バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀展 ピカソからウォールまで 開催中!

諸橋近代美術館 (福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23) 一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円 毎週土曜日、小・中学生は無料 電話0241(37)1088



約3000点の新作・入選作 日本美術展

改組 新 第3回 日本美術展覧会

多くの芸術家を輩出!

日本の美術振興を目的に1907年(明治40年)に始まった文部省美術展覧会が基となり、現在は民間団体、公益社団法人日展が開催し、今年で109年目を迎えた団体。

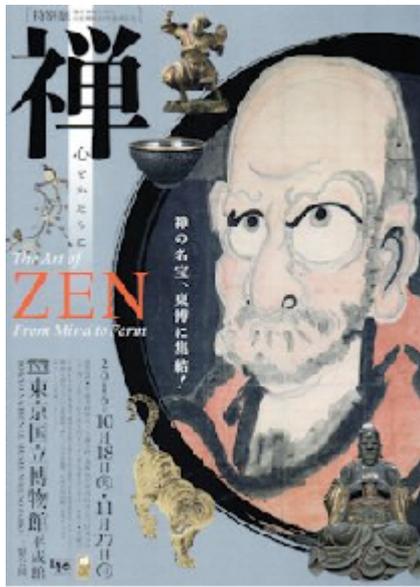
全国各地から約12000点の応募作品が集まり、無鑑査の作品と共に、約3000点が5つ(日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書)の部門ごとに展示される。109年の伝統のなかで、多くの芸術家が輩出されてきている。

日展三山と言われた日本

画家の東山魁夷、杉山寧、高山辰雄、横山大観。洋画では黒田清輝、藤島武二、棟方志功。彫刻では高村光雲、朝倉文夫、清水多嘉示、山崎朝雲。工芸美術では板谷波山、楠部彌弼、松田権六。書では青山杉雨、尾上

柴舟、日比野五鳳をはじめ、そうそうたる作家たちが、日本の美術界に功績を残している。

国立新美術館(東京都港区六本木7-22) 電話 03-3821-0453
一般1200円 高・大学生700円 小・中学生は無料 11/12は「日展の日」で入場無料 木曜日、毎週火曜日休館



特別展 禅 心をかたりに

禅の名宝が大集結!

国宝22件・重文102件、禅の名宝が東博に大集結している。

禅宗は中国から伝えられた仏教の一派。その導入は鎌倉時代から南北朝時代にかけて臨済宗を中心におこなわれ、それととも新たな宋・元の美術、喫茶の風習が中国からもたされた。

江戸時代には、やはり臨済禅の流れをくむ黄檗宗が明治代末の美術とともに中国から伝わり、また臨済宗中興の祖と称される白隠は教化のために自ら多数の書画を制作し、禅画の先駆者として高く評価されている。

江門時代には、やはり臨済禅の流れをくむ黄檗宗が明治代末の美術とともに中国から伝わり、また臨済宗中興の祖と称される白隠は教化のために自ら多数の書画を制作し、禅画の先駆者として高く評価されている。

◆10月18日(火)～11月27日(日)
東京国立博物館平成館(東京都台東区上野公園13-9) 電話 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 大学生1200円 高校生900円 中学生以下無料 月曜日休館

本展では、五章に分けて解りやすく紹介している。

第一章 禅宗の成立
第二章 臨済禅の導入と展開
第三章 戦国武将と近世の高僧
第四章 禅の仏たち
第五章 禅文化の広がり

期間中、記念イベント(講演会、トークイベント、尺八コンサート、禅寺の四ツ頭茶礼、禅トーク、写禅言など)が開催される。

■静岡市立芹沢鈺介美術館(静岡市駿河区登呂5-10の5) 電話 054(282)5222 一般410円 高大生250円、月曜日休館

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

■国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市城内町117) 電話 03(5777)8600 (ハローダイヤル) 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下は無料 月曜日休館

庭園ゾーン、書院ゾーン、体験ゾーン、展示ゾーン

■北九州市立小倉城庭園(北九州市小倉北区城内1の2) 電話 093(582)2747 会期中無休



東京富士美術館

漢字三千年

漢字の歴史と美

初公開の文字の刻まれた兵馬俑

普段なんとなしに使っている”漢字”には三千年の歴史があることが分かり、それを紐解いていくのに、東京富士美術館（東京・八王子）で開催されている。

本展では最古の漢字といわれる甲骨文字をはじめ、文字の統一を果たした秦時代の漢字、世界初公開の文字の刻まれた兵馬俑など、漢字が記された文物を展観するとともに、漢字を芸術の域にまで高めた王羲之や顔真卿の拓本など歴代の名書作品、歴史上の人物が書いた書作品など、中国の博

物館・研究機関17ヶ所から、国家一級文物23点を含む約110点を出品。

漢字の歴史と美の変遷を探るとともに、漢字にまつわるエピソードなどを紹介し、今まで他に類を見ない漢字ワールドを展観できる。

メモ

◆ 10月20日
(木) ~ 12月4日(日)

東京富士美術館（東京都八王子市谷野町4-9-2）
1）TEL 042-266-9114
517 一般1300円
大高生800円 中学生400円 月曜日休館

生誕300年

若沖の京都

KYOTOの若沖



本展は、2000年に《特別展覧会 没後200年 若沖》を企画監修し、『若沖ブーム』の火付け役となった美術史家で、『若沖』研究の第一人者である狩野博幸氏の監修により、企画構成された100点以上の作品で、若沖の魅力を存分に伝える、京都ならではの展覧会。

若沖は京都錦小路の青物問屋の長男として、今から300年前の正徳6（1716）年に生まれた。家業のかたわら狩野派、光琳や中国の元代、明代の画法を学び、40歳で家業を弟に

譲って絵画の制作に専念し、寛政12（1800）年に没した。写生的、裝飾的な花鳥画と斬新なタッチの水墨画によって異色の画風を作り上げた若沖の世界に案内している。

メモ

◆ 10月4日
(火) ~ 12月4日(日)

京都市美術館（京都市左京区岡崎円勝寺町124（岡崎公園内））
TEL 075-77714107
一般1200円 大高生1000円 中学生500円 月曜日休館

デザインの解剖展

デザインの解剖展

身近なものから世界を見る方法

「デザインの解剖」は、グラフィックデザイナーの佐藤卓が2001年より取り組んでいるプロジェクトで、身近な製品を「デザインの視点」で解剖し、各製品の成り立ちを徹底して検証する試みとなっている。

本展は、製品を取り巻く世界はもちろん、社会、暮らしとデザインの関係につ

製品の成り立ちを徹底して検証

いて、さらにはデザインの役割や可能性について、改めて深く考察する機会となりそう。

メモ

◆ 10月14日
(金) ~ 2017年1月22日(日)

21-21 DESIGN SIGNATURE（東京都港区赤坂9-7-6 東京ミッドタウン・ガーデン内）
TEL 03-344752121 一般1100円 大学生800円 高校生500円 中学生以下無料
火曜日休館 年末年始（12/27~1/3）



特集

企画展示「身体をめぐる商品史」 総合展示「百貨店と近世の織物」

国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市)



時代ごとの社会背景を考察!

本展では、おもに大正時代から1980年代頃までの身体観やデザインの変化を商品や雑誌、カタログ、広告などで表現していくことで、日本における身体観が変化してきた様子を服飾、レジャー、スポーツ、衛生、美容を中心として描写していくことを目的としている。

国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)では、身体に関わる生活習慣や美意識の身体感の変化をファッション、石鹸、歯ブラシ、化粧品などの身近な商品の歴史を鑑みるユニークな展覧会が開催され注目されている。

身体感の変化を、おもに商品の実物と広告など総数約670点を通し、時代ごとの社会背景を考察できる懐かしくも、現代に通じる貴重な機会となっている。時代と文化的営みを如実に映し出す商品と広告を通して、近代化ニッポンの文化



の発展を紹介している。

『見どころは』

- ・近代に江戸趣味の光琳模様、元禄模様で新たなデザインを模索した軌跡
- ・もともと呉服を扱っていた百貨店が洋服や文具、食品なども取り扱い、大衆化していった軌跡

メモ

◆ 10月18日 (火) ~ 12月18日 (日)

国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市城内町117)

TEL 03-57700860 (ハローダイヤル)

一般420円 高校生・大学生250円 中学生以下無料 毎週月曜日休館 *総合展示もあわせてご覧出来ます。

・戦前から戦後と石鹸やシャンプー、歯磨などの衛生用品の変遷

・マラソン足袋、下駄スケート、竹スキーなど昔のスポーツ用具

・化粧品の実物や広告からみた、時代による美意識の変化



運動企画 「百貨店と近世の染織」

多くの百貨店は 呉服商を前身

運動企画として、総合展示第3展示室では、近代の百貨店の移り変わりを企画されている。多くの百貨店は呉服商を前身としていて、女性の着物の販売に力を入れていた。

近代の百貨店が開催した展覧会をとりあげ、実際に陳列された近世の染織品を展示してある。その染織品を百貨店がいかに利用したかを見ていくことで、文化が発見され、消費されるさまを示している。



2016年11月20日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●東京国立近代美術館

「トーマス・ルフ展」 11月13日まで ㊧003 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円

月曜日休館

●江戸東京博物館 「よみがえれ! シーボルトの日本博物館」 11月6日まで ㊧003 3626 9974 一般1400円 月曜日休館

●東京藝術大学美術館 「驚きの明治工芸展」 10月30日まで ㊧003 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 月曜日休館

●東京都写真美術館 「世界報道写真展」 10月23日まで ㊧003 3280099 一般800円 月曜日、10/11休館

●東京都写真美術館 「杉本博司 ロスト・ヒューマン」 11月13日まで ㊧003 32800099

一般1000円 月曜日休館

●東京ステーションギャラリー 「動き出す! 絵画ペール北山の夢」 11月6日まで ㊧003 3212 2486 一般1000円 月曜日休館

●太田記念美術館 「国芳ヒーローズ 水滸伝豪傑勢揃」 10月30日まで ㊧003 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 会期中無休

●三井記念美術館 「松島 瑞巖寺と伊達政宗」 11月13日まで ㊧003 777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 月曜日休館

●サントリ美術館 「鈴木其一 江戸琳派の旗手」 10月30日まで ㊧003 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 月曜日休館

●日本科学未来館 「THE NINJA」 10月10日者ってナンジャ」 10月10

日まで ㊧003 35709151 一般1600円 火曜日休館

●出光美術館 「大仙厓展」 11月13日まで ㊧003 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●世田谷美術館 「志村ふくみ 母衣への回帰」 11月6日まで ㊧003 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

東京郊外

●三鷹市美術ギャラリー 「生誕120年記念 小林かいち展」 10月23日まで ㊧0422 790033 一般600円 月曜日休館

●武蔵野市立吉祥寺美術館 「デビュー20周年記念 どうかや展 チリとチリ」 10月2日まで ㊧0

42222 0385 一般1000円 10/26休館

関東南部

●茅ヶ崎市美術館 「北斎漫画館 画は伝神の具也」 11月6日まで ㊧0467 88 1177 一般700円 月曜日休館

●平塚市美術館 「香月秦男と丸木位里・俊、そして川田喜久治」 11月20日まで ㊧0463 352111 一般900円 月曜日休館

●横須賀美術館 「女性を描く クールベ、ルノワールからマティスまで」 10月23日まで ㊧046845 1211 一般1200円 10/3休館

●横浜みなと博物館 「柳原良平 海と船と港のギャラリー」 11月6日まで ㊧045 2210280 一般2000円 月曜日休館

1515 一般1200円 月曜日休館

関東北部

●埼玉県立近代美術館 「NEW VISION S A I T A M A 5」 迫り出す身体 11月14日まで ㊧048 824 0011 一般1100円 月曜日休館

●群馬県立近代美術館 「美術と音楽 音楽をめざす美術のこころ」 11月13日まで ㊧027 346560 一般820円 月曜日休館

●高崎市美術館 「愛のなかの女性たち」 11月18日まで ㊧027 3246125 一般300円 月曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84) 2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上) 1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

●江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81) 5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを染しめず

●箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 電話0460(82) 2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

Art Topics

第9回 湘南えはがき市



Art Gallery LOS PINOS & Cafe

◆ 11月11日 (金) ~ 23日 (水・祝)
 Art Gallery LOS PINOS & Cafe (神奈川県藤沢市南藤沢7-16-102)
 ☎ 0466-1261200
 水曜日休廊



旧春日大社宝物殿は平成28年10月1日より春日大社国宝殿 K a s u g a t a i s h a m u s e u m としてリニューアルオープンした。新装にあたっては日本の美術

1点をはじめ多くの文化財を所蔵している。いずれも王朝の美術工芸、日本を表する甲冑や刀剣など日本の美の原点たる名宝です。開館にあたり国宝・重要文化財の中から珠玉の名品約50点を選び、その魅力をより多くの方に伝えるべく開館記念展を開催これら王朝の美術工芸、日本を代表

湘南在住、ゆかりのアーティストのポストカード展セット カレンダー他

MOA美術館改修工事まで休館中！
 MOA美術館は昭和57年に開館してから33年が経過したこと、展示空間の刷新と設備の更新を目的として、改修工事を実施している。ロビーエリア、展示スペースの設計は、世界を

にどう再構築して受け継いでいくかという問いに取り組み、様々な試みの中から、日本の伝統的な素材を用いた現代的な空間を生み、あたらしいMOA美術館を目指している。

春日大社 第六十次年造替記念事業 「春日大社国宝殿」 として名を改め リニューアルオープン

館建築で活躍する専門家が結集し、旧宝物殿の耐震補強、収蔵環境改修、拡張に加え内外装の一新を果たした。春日大社は国宝352点、重要文化財97

する甲冑や刀剣など国の宝の数々を展観できるふさわしい施設となった。

主な展示品 (※会期中一部展示替があり)

- ・国宝 金地螺鈿毛抜
- ・国宝 (平安時代) 形太刀
- ・国宝 蒔絵筆 (平安)

安時代)

- ・国宝 赤糸威大鎧(竹虎雀飾)
- ・国宝 (鎌倉時代) 赤糸威大鎧(梅鶯飾)
- ・国宝 (鎌倉時代) 黒韋威矢筈札
- ・国宝 (南北朝時代) 胴丸
- ・国宝 (室町時代) 黒韋威胴丸

◆ 10月1日 (土) ~ 11月27日 (日)
 春日大社 (奈良県奈良市春日野町160) TEL 0742-227788
 一般500円 大学・高校生300円 中学生・小学生200円 会期中無休